

### 最新のタブレット ソリューションで 地域金融機関と顧客との結びつきを より強固に

#### NECソリューションイノベータが提供する 社会ソリューション

NECソリューションイノベータ株式会社(以下 NECソリューションイノベータ)にプロジェクトマネージャーとして所属する真鍋 卓也氏のチームは日本中を仕事として飛び回っています。金融ソリューションを27年間手がけてきた同氏は、直近のプロジェクトにおいて、地域金融機関が地方に在住する高齢者や農家向けにサービスを提供するためのソリューション構築に携わりました。地方の人口が高齢化するに伴い、該当地域の多くの金融機関が統廃合や閉店を進めている中、残された住民にとって必要不可欠な銀行サービスへのアクセスが、ますます少なくなってきました。

日本電気株式会社(以下 NEC)は、製品とソリューションを組み合わせることによって複雑で絶え間なく変化する顧客ニーズに対応しています。同社は、世界中の企業や人々に利益をもたらすITおよびネットワーク技術を統合する世界的なリーダーであり、10万人以上の従業員が、100年以上におよぶ同社の技術革新に関する専門知識を人々、企業、社会に提供し続けています。

**「私たちにとって一番有難かったのは、WPF というこれまでに経験がなかったプラットフォームにおけるプログラミングの課題に対するインフラジスティックスからの強力なトレーニングとサポートでした。このお陰で私たちは予算と期限内にプロジェクトを完遂することができました。」**

NECソリューションイノベータ パブリック事業本部 / 第二金融ソリューション事業部 マネージャー 真鍋 卓也氏

真鍋氏は今回、同社の胡内 延彦氏と西 晃伸氏と共に、金融機関店舗へのアクセスが容易ではなくなっている農家や地方在住者が、お金を取り扱うことができるような金融機関ソリューションを構築しました。長年、金融機関はPDAをベースとしたシステムを採用してきましたが、お客様を訪問する渉外員にとっては既存システムの画面は小さく、UIの使い勝手もよくなく、機器の制約から改善そのものも難しいものでした。そのため最新の技術を利用し、渉外員がお客様に対してより良い提案を行えるために使いやすく、また、簡単にアクセス可能なソリューションが必要とされていました。

胡内氏とその後輩である西氏は、共に入社以来、金融ソリューションを専門としており、ATMのプログラミング、サーバーの移行や渉外向けPDAアプリケーションの開発などを行ってきました。両氏は今回、Windowsベースタブレットに対応するアプリケーションのメイン開発者としてプロジェクトに携わり、現在は構築したソリューションを顧客に導入する業務を担っています。

#### プログラミングの課題

「弊社のお客様の中には銀行業務用の専門タブレットを既に使っているところもありましたが、私たちはより優れた機能を持つ使い易いタブレットを提供することを決めました。」と真鍋氏は述べています。

「開発初期の検討時に、アイデアを得るためにお客様からのフィードバックを吸い上げました。」と真鍋氏は述べています。「数か月の検討ののち、このタブレットプロジェクトを成功させるためにはUXの向上が主な要素であることに気が付きました。」

UXの向上を実現するために、開発チームはWPFを採用し、.NETフレームワークを用いたタブレットアプリを開発することを決定しました。



NECソリューションイノベータの役割について真鍋氏は「NECはグループ全社をあげて社会ソリューションを提供することに誇りを感じています。NECグループの中で弊社は、お客様に対して、全方位かつ、ワンストップITソリューションを提供します。また、NECのコンサルティング、マーケティング、営業など様々な事業部と共同でプロジェクトを遂行しています。」と述べています。



NECソリューションイノベータ  
パブリック事業本部 /  
第二金融ソリューション事業部  
マネージャー  
真鍋 卓也氏

真鍋氏は、「私はITアーキテクトとして、ハードウェア、ネットワークやソフトウェアで使用するフレームワークの選定など含めたシステム全体の構成を決定しています。」と述べており、「システムインテグレーションの専門家として弊社はソフトウェアのみならず、ハードウェアも手掛けることができます。また、グループ内で国内では1年中24時間体制のサポートを提供しています。そのため、お客様は弊社のシステムを安心してご利用いただける形となり、これこそが、NECグループの強みだと考えています。」



NECソリューションイノベータ  
パブリック事業本部 /  
第二金融ソリューション事業部  
主任  
胡内 延彦氏

同チームは以前にC/C++だけでなくマイクロソフトのテクノロジーも使用した経験はありましたが、WPFを実開発に採用するのは今回が初めてでした。

「社内では今回の決定に関して懸念がありました。私は他のチームメンバーにWPFの経験があるかどうか聞いてみましたが、多くの経験を持っている人材がいなかったのです。」と胡内氏は当時を振り返っています。

このプロジェクトを成功させるには、外部からの支援が必要であり、そのため、インフラジスティックスが初期のトレーニングからプロジェクトをサポートすることになりました。トレーニングでは、インフラジスティックスのプラットフォームスペシャリストがXAML、レイアウト、データバインディング、コマンド、スタイル、テンプレートといったWPFの基本についてのトレーニングを同社に赴き提供しました。また、今回のプロジェクトの要件を再現するサンプル画面を別途作成し、そちらを用いた演習を実施しました。

「幸いにも、私たちはインフラジスティックスのコンポーネントとサービスについて詳しい説明を聞く機会がありました。その結果、プロジェクトに必要なスキルを学ぶためにインフラジスティックスからWPFについてトレーニングを受けることにしました。このトレーニングにおいて、我々が直面しているWPFプログラミングの課題について質問したところ、同社の講師に即座に解決策となるサンプルコードをライブコーディングで提示いただきました。初期にインフラジスティックスの支援を受け、開発者の底上げを実施し、同社のUltimate UI for WPFの採用を決定したことが、この開発プロジェクトの成功の決め手であったと考えています。」と真鍋氏は述べています。

今回の渉外支援タブレットアプリケーションプロジェクトは、構想を含めて約3年、Infragistics Ultimate UI for WPFを用いて開発がおこなわれました。



NECソリューションイノベータ  
パブリック事業本部 /  
第二金融ソリューション事業部  
西 晃伸氏

インフラジスティックスが提供するWPFコントロールは、WPFデスクトップアプリケーションの開発生産を向上させるコンポーネントセットです。チャート、グリッド、スケジュール、エディターなどが含まれています。

インフラジスティックスWPFコントロールを購入した後、真鍋氏のプロジェクトチームはプライオリティサポートを利用しました。インフラジスティックスのサポートチームからの回答やサンプルコードの提供は迅速だったと西氏は振り返ります。

「私たちは多くのサポートを提供いただきました。また、提供された回答はとても分かりやすいものでした。インフラジスティックス社との主な連絡手段はEメールでしたが、必要に応じて電話を用いてのサポートも受けることができ、大半の回答を24時間以内に得ることができました。」



このプロジェクトでは、特にエディターコントロールと当時提供されていたレポート製品が主に使用されました。エディターで提供されている最大桁数の制御や英数字入力などを設定することでユーザーからの入力制御を実施しています。

「インフラジスティックスのサポートを受けることで、どうしたらパーツを意図通りに移動できるか、入力された数字だけを認識するにはどうすればよいのか、など、私たちが直面していたハードルも短時間で解決されました。」と同社が実際に活用したサポートの実例を真鍋氏が振り返っています。

さらに、同氏は、「繰り返しとなりますが、私たちにとって一番有難かったのは、WPFというこれまでに経験がなかったプラットフォームにおけるプログラミングの課題に対するインフラジスティックスからの強力なトレーニングとサポートでした。このお陰で私たちは予算と期限内にプロジェクトを完遂することができました。」と全体を振り返っています。



## 地方における課題を解決するソリューション

今回のプロジェクトのエンドユーザーである地域金融機関の渉外部門からは、PDAからタブレットへの移行の結果、直感性の向上とレイアウトが使いやすくなったとの評価を得ることができました。更に、スクリーンが大きくなったことで視認性も向上しました。また、スクリーンのタップや、指先を使った拡大、縮小操作に慣れていないユーザーのためにさまざまな機能のボタンも併せて提供しています。

「渉外部門様がやり取りを行う顧客にとっては、銀行通帳を持って銀行に出かけて行く代わりに、自宅でいろいろな銀行サービスを受けることができます。また、タブレットに移行したことで、署名もオンラインで電子的にできるようになり、顧客が実際に紙面上に署名する必要もなくなりました。」と胡内氏は述べています。

今後の開発計画について真鍋氏は、「タブレットアプリケーションとなったことで、お客様のニーズに合わせて機能拡張を行いやすくなりました。将来的には顔認証機能を追加してパスワードを廃止することを考えています。」と述べています。

このタブレットソリューションは個々の金融機関向けにカスタマイズを行うため、導入には約13~15カ月間ほどを要します。同社の渉外支援タブレットのユーザー第1号は2016年5月に誕生し、2017年末までに5社への導入が完了しています。

最後に真鍋氏は、「今後、開発プロセスをスピードアップし、この数年間で導入数を数万台とすることを目標にしており、今後もインフラジスティックス社のコントロールを活用することで達成可能であると確信しています。」と同社が提供するソリューションの今後の展望について述べています。

## Infragistics Ultimate UI for WPFについて

Infragistics Ultimate UI for WPFは業務アプリケーションの構築に特化したWPF対応UIコントロールセットです。大量データに対応するチャートや高機能グリッドなど、業務アプリケーションで必要とされる機能を実装したコントロールを提供しています。また、各コントロールのプロパティ設定を視覚的に行えるコントロールコンフィギュレーターをVisual Studioの拡張機能として提供しているため、コントロールの学習コストを削減し、効率よく開発できます。

## インフラジスティックスについて

インフラジスティックスは、アプリケーションの設計と開発、データの可視化と分析、コラボレーションを促進させるツールやソリューションを世界的なマーケットリーダーとして提供しています。その中でも、インフラジスティックスが提供する企業向け開発ツール製品「Infragistics Ultimate」は全世界において200万人以上の開発者が利用しています。この開発ツール製品を使用することで、開発者はクラウド、Web、Windows、iOS、Androidなどさまざまなプラットフォームでアプリケーション開発を行ったり、素晴らしいユーザーエクスペリエンスを実現するためのプロトタイプを高速に構築したりできます。さらに、「ReportPlus」、「SharePlus」に代表されるエンタープライズモバイル製品では、ビジネスユーザー向けにデータの可視化や分析、コラボレーション機能を提供しています。

本事例は2017年10月時点のインタビューに基づいており、部署名、製品名はインタビュー時点のものであります。  
製品に関してのお問い合わせ: Infragistics株式会社 営業部  
Email: JapanSalesGroup@infragistics.com  
TEL: 03-6892-8034  
https://jp.infragistics.com  
本事例は2017年10月時点のものであります